

田中まどかの市議会通信 vol.20

発行責任者：日高市議会議員 田中まどか（会派 みんなの会）

2021. 1. 12 発行



あけまして おめでとうございます
本年もよろしくお願いたします



2020年12月議会のご報告

職員、市長、副市長、教育長、議員の期末手当が下がります

コロナの経済への影響で、今年の人事院勧告は7年ぶりに給料据え置き、10年ぶりに期末手当引き下げとなりました。12月期の支給割合を0.05月引き下げ、年4.45月となります。



ひとり親世帯に2回目の臨時特別給付金

1世帯5万円、第2子以降1人につき3万円。前回支給された方には申請不要で年内に振り込まれました。新たにひとり親となった方、前回対象外だった方は子育て応援課へお問い合わせを！申請期限は2月26日です。

在宅でごみが増加

家庭系ごみが増え、処理費2000万円を増額補正しました。家具等はリサイクルするなど、ごみを増やさない工夫をお願いします。

武蔵台コミュニティプラントの公共下水道への接続が遅れます

オリンピックによる建設ラッシュの影響で天神橋ポンプ場の工事が遅れ、今年度末に予定していた接続は1年ほど遅れる見込みです。（住民への直接の影響はありません）

高麗本郷メガソーラー地権者と事業者が市を提訴

「日高市太陽光発電設備の適正な設置等に関する条例」に対し、9月、設備設置事業をする権利が原告らにあることを確認する訴訟がさいたま地裁に起こされました。市は応訴します。

学習用タブレット4506台を購入

GIGAスクール実現に向け、児童生徒一人に1台。契約金額約3億5700万円。うち約2億9千万円は国費。教材や授業支援ソフトも含まれます。臨時休校への備え、発達障害、不登校のお子さんへの活用も進めてほしいです

どうする？令和3年度予算 市税は3～4億円の落ち込み予想

コロナの影響で市税の減収、国からの交付金減額は避けられません。予算要求段階での財源不足は約21億8千万円にもなり、市は対策として、国県補助金、交付税措置のある市債、まちづくり寄附金等の活用を進め、事業は検証したうえで大胆に廃止、縮小、手法変更、新規事業への改善を行っていくと回答しました。大変厳しい予算編成になります。

DV被害者情報の漏えい防止策の徹底を

他自治体でDV被害者の情報が加害者側に漏えいする事件が多発しています。生命にかかわる問題です。市では、被害者本人以外に住民票の写し等の交付を認めない措置を行い、住民基本台帳システムでその人を検索すると大きく警告が表示される。警告は関係部署のシステムとも連動し、市町村間の情報共有も適切に行なわれているとのことでした。

掲示物や回覧文書に「やさしい日本語」の使用を

「土足厳禁」を「くつをぬいでください」と表示したりルビをふるなど、小学校低学年程度の日本語は、外国人や子どもにとって理解しやすく、特に災害時には効果的です。公共施設の掲示物や回覧文書などへの使用について、市は、「やさしい日本語」の趣旨をふまえ、市からの文書等もわかりやすい表現になるよう研究していくと回答しました。





☆知って、考えたい 子どもの未来☆

埼玉県の高中生 25人に一人が 家族を介護

私が2019年の9月議会で「ヤングケアラー（日常的に家族の世話や介護をする18歳以下の子ども）」について一般質問した時には、いったい何人のヤングケアラーがいるのか、どこにもデータがありませんでした。

しかし2020年11月に埼玉県が県内の高校2年生を対象に調査し、回答者の4.1%に当たる1969人が祖父母や母親、兄弟のケアをしていることがわかりました。そのうち3人に1人が毎日ケアし、4人に1人が「悩みを話せる人はいない」、20%が小学生の時からケアをしているということで、県もこの結果に驚き、全国で初めてのヤングケアラー支援計画を策定することにしました。

教師が気づくことが多いので、市の教育委員会から学校への周知をお願いしています。



医療センター内に中学校院内学級開設

埼玉医科大学国際医療センターの中に高麗川小学校の分教場「たんぼぼ学級」があるのをご存じですか。

2010年、県内で3番目の院内学級として開設されました。入院治療を続ける子どもたち11人が体調や治療の都合を見ながら学んでいます。

体育以外は本校とほぼ同じ内容で、教えるのは高麗川小学校の先生です。

2021年度から待望の中学生の学級も開設されるそうです。



子どもの前でのDVは 児童虐待です

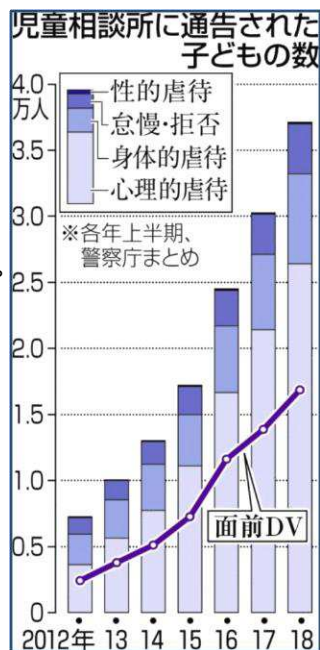
親のDVを子どもが目撃する事は「面前DV」と呼ばれ、心理的な児童虐待です。

女性の3人に1人が配偶者からDVを受けたことがあるという調査結果があります。

面前DVを受けている子どももそれだけいると言えます。

DVに悩んでいる方は、市の女性相談を利用してください。

学校や地域で子どもたちに声がけをすることで、子どもから相談しやすい雰囲気をつくっていくことも大事です。



身を守れない校則は要らない

コロナ対策として行う換気で教室が寒いのに、上着を着たり、マフラーやひざ掛けを使うことが禁止されている学校があるということで、教育委員会に改善をお願いしました。体感には個人差があります。

自分の体調を自分で管理することは、生きていく上での基本です。



連絡先：〒350-1255 日高市武蔵台 1-29-2 TEL/FAX 042-982-0599

ブログ：<http://madokatanaka.livedoor.blog/>

フェイスブック：<https://www.facebook.com/madoka.tanaka.140>

メールアドレス：madoromi29@hanno.jp

お気軽にご連絡、ご意見、ご相談ください。

ブログ



フェイスブック

